

1. 科目名 (単位数)	音楽 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP1140						
2. 授業担当教員	杉原 由利子								
4. 授業形態	演習, 講義, 実技	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	保育における音楽活動の指導で求められる知識, 技術を身につけ, 理解を深める。保育現場では歌唱指導はもちろん合奏指導, リズム活動など様々な音楽活動やその指導において鍵盤楽器が使用されるため, それなりの演奏技術を身につけなければならない。具体的には「音楽」では子どもの歌を歌うのに必要な発声法, ピアノ演奏技術とピアノ伴奏によって歌唱指導する能力を習得する。また, これらの技術・能力の習得のために必要な読譜や音楽のしくみに関する基礎的な知識や理論についても実践を通して学ぶ。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができる。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につける。 3. 歌うための発声を習得し, 歌うことができる。 4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノ実技: 授業終了時に次週の課題を提示するので必ず譜読みと練習をして臨んで下さい。 2. 音楽理論: コードネーム学習に関して課題を提示することがあります。 3. 第10回に, 音楽理論の小テストを実施, 最終15回目に弾き歌いの演奏の発表をテストに替えます。このテストを1度でも欠席するとI評価になりますので, 必ず出席してください。 4. 小テストの事前課題として, 弾き歌い映像データの提出を14回授業後に求めます。 5. 歌唱教材: 1曲でも多くのレパートリーを持てるよう譜読みを素早く正確にできるように練習し, 「歌うこと」に積極的な姿勢で臨んで下さい。 6. 15回の授業が終了した際「バイエルであれば大よそ50番台まで弾きこなせること」, 「両手を使っている弾き歌いができる (右手=旋律, 左手=コードまたは伴奏) こと」を最低限の目標と致します。 								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 杉原由利子・赤塚太郎『新しい音楽のおさらい』共同音楽出版社 「新刊これだけは歌って弾こう70」共同音楽出版社。 印刷楽譜や資料を適宜使用。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な音楽理論を理解し読譜ができるか。 2. 弾き歌いをするための基本的な演奏力を身につけたか。 3. 歌うための発声を習得し, 歌うことができるか。 4. 主にリズム活動に関わっていくマーチなどの演奏ができるか。1 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表</td> <td style="text-align: right;">総合点の50%</td> </tr> <tr> <td>2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど</td> <td style="text-align: right;">総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)</td> <td style="text-align: right;">総合点の20%</td> </tr> </table> 上記のほか, 本学規定に定められている3/4以上の出席を単位認定の条件としている。			1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の50%	2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の30%	3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%
1. ピアノ伴奏による弾き歌いの発表	総合点の50%								
2. 基本的な音楽理論の筆記テストまたはそれにかわるレポートなど	総合点の30%								
3. 授業への取り組み (学習意欲・学習態度など)	総合点の20%								
12. 受講生へのメッセージ	「ピアノが弾けるようになる」ことはすなわち技術の習得です。日々の鍛錬を忘れずに積み重ね, 努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じて取り組み, 出来る喜びを分かち合いたいと思います。気持ちよく授業を進める為または素晴らしい保育者としても絶対に必要なこととして, 学生の皆様すべてにきちんとした挨拶をして頂くよう求めます。声を出し, 視線を合わせて挨拶をすることを必ず行いましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ, 素晴らしいさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。この授業では欲張ってたくさんの方に取り組みます。事前の譜読みや練習なしに授業に臨んでも, 有意義な時間が過ごせません。熱心に, 楽しく取り組んで下さい。授業冒頭にわらべ歌の学習を実践します。								
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示いたします。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要), 音楽経験・演奏レベル, 音楽理論復習を兼ねるアンケート調査と回答合わせ 課題曲提示	事前学習	鍵盤で下の位置を確認し既習の基礎的な音楽に関して復習しておく。						
		事後学習	配布資料の読み返しと, 提示されたピアノの課題に取り組む。						
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ 「新刊これだけは歌って弾こう70」を用いた弾き歌い練習の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽理論①概要の解説と学習の振り返り ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。						
		事後学習	配布資料の読み返しと, 提示されたピアノの課題に取り組む。						
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ 「新刊これだけは歌って弾こう70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論②音階と調性の概説。 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。						
		事後学習	配布資料の読み返しと, 提示されたピアノの課題に取り組む。						

第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ 「新刊これだけは歌って弾こう70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論—③長音階と長調。特にこどもの歌に頻出の4つの調性に関して（ハ、ヘ、ト、ニ長調） ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第一回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ 「新刊これだけは歌って弾こう70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論—④短音階と短調 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第一回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音した音源データを、教員に添付ファイルにしてメール送信する。
第6回	第1回小テスト— 指定された楽曲の歌唱（無伴奏）のテスト	事前学習	第一回目の小テストに向けた無伴奏での歌唱練習をする
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて無伴奏歌唱を復習する
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑤和音の機能に関する概説。良く使用するコードに関する実践的解説 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえてピアノの練習に取り組む。
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑥拍子とリズム ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第二回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえてピアノの練習に取り組む。
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑥楽語に関して ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第二回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音した映像データを、教員に添付ファイルにしてメール送信する。
第10回	第2回小テスト 弾き歌いのテスト	事前学習	第二回目の小テストに向け楽典を確認する。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて楽典を確認する。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑦移調と転調 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音して、教員に添付ファイルにしてメール送信する。第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑧借用和音に関して ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音して、教員に添付ファイルにしてメール送信する。第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑨音楽理論に関する学習内容のまとめ1 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 ・ピアノエクササイズ ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論—⑩音楽理論に関する学習内容のまとめ2 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション 	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	次週の小テストの楽曲を無伴奏で歌唱した映像データを、教員にline貼り付けまたは、添付ファイルにしてメール送信する。

第15回	第3回小テストーリズム、ハンドサイン付きの無伴奏の歌唱 ※授業評価実施	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて歌唱練習に取り組む。